



寄稿

建築を語る会(友清貴和会長)は毎年、全国各地の建築物などを見学する研修旅行を実施している。今年も、現代建築と伝統的建築が並び並ぶ街並みの見学を目的に3日間の日程で石川県金沢市

建築を語る会 下山 道男

初日は、車窓から小松空港を眺めながら、最初の目的地「金沢海みらい図書館(設計:シーラカンズK&H)を中心



階は児童図書館やホール、2・3階が開架式の閲覧室。2階部分の約半分を吹き抜けにし、3階と一体となった空間となっている。閲覧室は、外観から

金沢海箱の中のような印象

工藤和美・堀場弘)に到着。日本建築家協会の優秀賞を受賞した建物で、遠目からは、パンチングメタルのように見える外観の丸い窓が特長。内部は、3層に分かれており、1階は児童図書館やホール、2・3階が開架式の閲覧室。2階部分の約半分を吹き抜けにし、3階と一体となった空間となっている。閲覧室は、外観から

見える丸い窓が、外壁側全体に広がっており、箱の中に入っているような印象。この丸い窓は30cmほど厚みがあるため、間接照明のような効果をもつ。全体的にほど良い照度を保ち、

計「SANA・妹島和世・西沢立衛)は、現代美術を展示しており、見るだけでなく、触ることができる作品が多くあった。円形をした建物の外壁はガラスで囲まれ、屋根は細い円形の柱で支えられている。しも天井や壁には、柔らかい光と空気に包まれた、海の中をイメージさせる建物であった。



21世紀美術館

普及促進へ前進

新たな地盤改良に期待

県産材新用用途導入支援事業「木製環境パイル工法」の現場見学会が18日、鹿児島市吉野町の

現場であった。写真。県やMBC開発(株)、大和木材(株)、環境パイル工法協会員ら約30人が参加。本県初の施工となる木製パイルを利用した地盤改良に関心を示した。

今回の現場見学会は、大和木材(株)(吉崎和穂社長)が窓口となり、県から補助金を受けてMBC開発(株)が施工する新築戸建て住宅で実施。事前に地耐力検査を行った上で、環境パイル工法協会員の高原木材(株)(八代市)がオーガ併用杭打機(KOMATSU BA100)を使って、均一に加工した杉材(φ140)を地盤に圧入した。

同工法は、木材を利用して家を支える地盤改良のひとつで、兼松日産農林(株)(東京都)が開発。特長は、①環境負荷が少なく、施工しやすい②「蟻害しない」「腐らない」ように、K4クラスに適合する薬剤を加圧注入することで木材保存処理を施している③セメント系の部材と比較しても遜色ない強度がある④試験により60年以上の木材耐久性が確認されている⑤木材利用ポイント(最大30万ポイント)も利用できるなど。

施工に立ち合った県環境林務部木材利用推進係の吉元英樹技術専門員は「実績がでる認知度も上がれば、木材の新たな利用拡大につながる。公共建築物や河川工事等への広がりも期待できるのでは」と感想を述べた。

大和木材(株)の西園靖彦



木製パイル、本県で初施工

現場であった

写真。県

やMBC開発

(株)、大和木材

(株)、環境パ

イル工法協会員

ら約30人が参

加。本県初の

施工となる木

製パイルを利用

した地盤改良に関心を

示した。

今回の現場見学会は、

大和木材(株)(吉崎和穂社

長)が窓口となり、県から

補助金を受けてMBC

開発(株)が施工する新築戸

建て住宅で実施。事前に

地耐力検査を行った上で、

環境パイル工法協会員の

高原木材(株)(八代市)が

オーガ併用杭打機(KO

MATSU BA100)

を使って、均一に加工し

た杉材(φ140)を地

盤に圧入した。

同工法は、木材を利用して家を支える地盤改良

のひとつで、兼松日産農

林(株)(東京都)が開発。

特長は、①環境負荷が少

なく、施工しやすい②

「蟻害しない」「腐らない」

ように、K4クラスに適

合する薬剤を加圧注入す

ることで木材保存処理を

新規に35人挑戦

貯水槽清掃作業監督者講習会

貯水槽清掃作業監督者講習会が19日、鹿児島市の県管工事会館で始まった。写真。ビル管理会社の従業員ら35人が新規登録者講習に挑戦。建築

物飲水の水の安全管理に必要な講習が22日までの4日間予定され、最終日に試験が行われる。講習会は、県管工事業協同組合連合会の要請で、日本建築衛生管理教育センターが15年ぶりに開催。建築物衛生法に基づく資格制度で、建築物貯水槽清掃業の知事登録に必要な要件となる。

講習は、4日間開講。建築

講習は、4日間開講。建築

講習は、4日間開講。建築

講習は、4日間開講。建築

建協日置支部パト 年度末をゼロ災で



現場で岩下良也県鹿児島地域振興局建設部土木建築課技術主幹は「この時期は日が暮れるのが早いので事故の危険性が高まる。視界確保対策をしっかりと作業にあたってほしい」とアドバイスした。

パト終了後、日置建設会館で反省会を実施。各診断員は「どの現場も重点事項を中心におおむね良好」と報告した。

県建設業協会日置支部(西郷進一支部長)は14日、支部管内の10現場を対象に安全管理・雇用改善パトロールを行った。写真。会員企業の事業主をはじめ、発注官庁の担当職員ら43人が参加。年度末を無災害で乗り切ろうと、安全管理体制の強化を呼び掛けた。今回は、3班に分かれ

て診断。このうち2班は、下野善和専務理事(南野建設)ら13人が道路補修(神之川24の4区)(施工:株西郷組)など4現場を巡回した。各現場では、施工状況を把握し、関係書類の記入状況、安全施工サイクル運動の実施状況などを入念に点検。神之川の現

場では岩下良也県鹿児島地域振興局建設部土木建築課技術主幹は「この時期は日が暮れるのが早いので事故の危険性が高まる。視界確保対策をしっかりと作業にあたってほしい」とアドバイスした。

パト終了後、日置建設会館で反省会を実施。各診断員は「どの現場も重点事項を中心におおむね良好」と報告した。

創業100周年記念コンペ

和気あいあいとプレー

(株)土佐屋(岡部龍一郎社長)主催の創業100周年記念「土佐屋ファミリー会」ゴルフコンペは15日、霧島市のかごしま空港36カントリークラブで盛大に開催。写真。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。



(株)土佐屋創業100周年記念

表彰式で岡部社長は、「今年8月に創業100周年、会社設立65周年を迎えられたのも、ひとえに皆さまの会社、そのOBの方々のおかげと心から感謝します。今後も200周年へ向けてお役に立てるよう社員一丸で努力していきます」と挨拶した。